

青森県立保健大学版LINKtoposを立ち上げ、拡大を図るための活動

チーム名: LINKplus

I. はじめに

LINKplusは、全国の公立大学の学生が集まり地域貢献について議論を行う全国LINKtoposへの参加を基盤とし、より幅広い視点からヘルスリテラシーの向上に向けた活動を行っていくことを目標としている。今年度は保健大学で学内LINKtoposを開催した他、学生団体交流会&ワールドカフェやAOMORI SIX 合同学修・研究発表会を通して他大学の学生との交流を深めた。

II. 目的

大学やサークルを超えた繋がりにより、様々な視点からヘルスリテラシーにアプローチする。そして、LINKplusが保健大学と他大学や他団体とのつなぎ役となることで、より多くの保健大学の学生が保健大学を含む様々な団体の地域貢献活動を知り、ヘルスリテラシー向上に興味を持つようになることが目的である。

III. 活動方法(または「活動の経過」等)

〈5月〉

○第1回ミーティング(5/17)

- ・メンバーの顔合わせ
- ・今後の活動についての話し合い
- ・LINKplusの設立経緯の再確認

〈6月〉

○第2回ミーティング(6/7)

- ・学内LINKtoposのテーマ決め、役割分担
- ・2019年度全国LINKtopos参加メンバーの募集方法について検討

○保健大学の発達保障研究会が主催する活動への参加・取材(6/23)

○学内LINKtopos開催(6/23)

〈7月〉

○2019年度全国LINKtopos参加メンバー決定

○公開講座での2018年度の活動報告(7/20)

〈8月〉

○第3・4回ミーティング(8/2・3)

- ・全国LINKtoposでの発表準備、ポスター作成
- ・全国LINKtoposの日程確認

〈9月〉

○2019年度全国LINKtoposへの参加(9/3~5)

○第5回ミーティング(9/26)

- ・2019年度全国LINKtoposの振り返り
- ・大学祭のポスター掲示について
- ・東北LINKtopos開催について

〈10月〉

○大学祭でのポスター掲示(10/12~13)

○保健大LINKplusのFacebookページ作成(10/20)

○岩手県立大学の学生との東北LINKtopos開催に向けた電話会議(10/28)

- ・東北LINKtoposのテーマと開催日・場所について検討

〈11月〉

○「AOMORI SIX 合同学修・研究発表会」参加メンバー募集

〈12月〉

○学生団体交流会&ワールドカフェへの参加(12/22)

- ・活動報告
- ・他大学の学生・高校生・社会人の方との交流

○学生団体交流会&ワールドカフェの振り返り

〈1月〉

○第6回ミーティング(1/4)

- ・「AOMORI SIX 合同学修・研究発表会」での発表準備

○「AOMORI SIX 合同学修・研究発表会」への参加(1/11)

- ・活動報告
- ・他大学の学生との交流

〈2月〉

○岩手県立大学の学生との東北LINKtopos開催に向けた電話会議(2/11)

- ・東北LINKtoposを3/2~3に行うことを決定

○岩手県立大学の学生との東北LINKtopos開催に向けた電話会議(2/18)

- ・東北LINKtopos詳細の確認

〈3月〉

○新型コロナウイルス感染症の流行により、東北LINKtoposの開催を来年度に延期

IV. 活動結果(または「成果」等)

- ・地域をテーマとしたワークショップを行う「学内LINKtopos」を保健大学内で6月に開催し、看護学科、栄養学科、理学療法学科の1～3年生9名が参加した。保健大学の学生が地域について考えるきっかけを作ることができた。
- ・9月に高知県で開催された「LINKtopos 2019 in Kochi」にLINKplusから5名の学生が参加した。会場には全国各地から約140人の公立大学の学生が集まり、他大学の学生と共に防災をテーマとしたワークショップやフィールドワークを通して考えを深めることができた。
- ・12月に青森市で開催された「学生団体交流会&ワールドカフェ」にLINKplusから3名の学生が参加した。このイベントは青森市内で活動をするキャリアサポートとレスタが主催したもので、高校生から大学生までの学生団体20組が集まった。ポスターを用いた活動報告や、ワールドカフェを通して他大学の学生と交流を深めることができた。
- ・1月に青森市で開催された「AOMORI SIX 合同学修・研究発表会」にLINKplusから3名の学生が参加した。青森市内で活動する大学生の団体7組がステージ発表をし、LINKplusもステージにて全国LINKtoposや学内LINKtoposについての発表を行った。

V. 活動目標に対する評価

今年度はイベント終了ごとに、ミーティングや構成員対象のアンケートでイベントの振り返りを行った。私たちの活動の目標は「LINKplusが保健大学と他大学とのつなぎ役となることで、より多くの保健大生が保健大学を含む様々な団体の地域貢献活動を知り、ヘルスリテラシー向上に興味を持つようになること」である。今年度は学生団体が集まるイベントや保健大学の地域貢献サークルが主催するイベントに構成員が積極的に参加し、学生同士の交流を深める活動を主に行った。全国LINKtoposでは20校以上の公立大学の学生と交流でき、東北地区からの参加者とは東北LINKtoposを開催する計画を進めることができている。また、青森市内のイベントでも20以上の団体と交流することができた。イベントの振り返りで構成員各自が他大学の学生から受けたアドバイスや他大学の活動内容を報告し合ったことで、構成員の意識の統一や考えの整理をすることができたと考える。

VI. 活動の総括

今年度は、構成員と他大学とのつながりを作ることや構成員自身の視野を広げる活動が中心となった。次年度はそのつながりや経験を活かし、保健大学の学生に向けた活動も増やしていきたいと考える。具体的には、今年度開催した学内LINKtoposの開催回数を増やすことや、保健大学内で学生団体の交流会を開催することなどを考えている。最終的には、保健大学の学生が持っている保健・医療の視点と他大学の学生が持っている様々な視点を共有できる場を作っていきたい。併せて、本年度開催予定だった東北LINKtoposも開催したいと考えている。

VII. 謝辞

本活動において、学内の先生方や職員の方々には多大なるご協力を頂きました。ここに感謝の意を申し上げます。

VII 活動構成員等

(チーム名: LINKplus)

	氏名	所属	役割分担
活動代表者	佐野 春奈	理学療法学科・2年	活動を総括する
経費執行責任者	葛西 孝幸	社会福祉学科・助手	予算執行の監督と顧問
副代表者	阿部 ひかる	栄養学科・2年	代表者の補佐
構成員	菅原 真美	栄養学科・4年	
構成員	渡邊 実咲	看護学科・4年	
構成員	山中 侑希奈	看護学科・4年	
構成員	秋本 日向子	社会福祉学科・3年	
構成員	宮崎 愛理	社会福祉学科・3年	
構成員	與儀 満里奈	看護学科・3年	
構成員	阿部 朱璃	栄養学科・2年	
構成員	松本 麻衣	栄養学科・2年	
構成員	堀江 美優	栄養学科・2年	

※欄が不足する場合には、適宜行を挿入ください。

VIII 活動経費(執行額)

(単位:円)

	活動経費 (総額)	科目					
		報償費	旅費	需用費	役務費	使用料/ 貸借料	その他
採択金額	300,000	0	288,000	12,000	0	0	0
執行金額	220,020	0	183,230	36,790	0	0	0

※活動経費執行内訳等の詳細は別紙「収支管理簿」のとおり。